



三菱パイプ用ファン(電気式シャッター付)とヒピダ[®]

(居室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル色調	電源仕様	機能	24時間換気機能
V-08PE7	ホワイト	電源プラグ	-	-
V-08PE7-BE	ベージュ	電源プラグ	-	-
V-08PED7	ホワイト	連結端子	-	-
V-08PED7-BE	ベージュ	連結端子	-	-
V-08PELD7	ホワイト	連結端子	本体電源スイッチ付	●
V-12PED7	ホワイト	連結端子	-	-

形名によって取扱いが異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

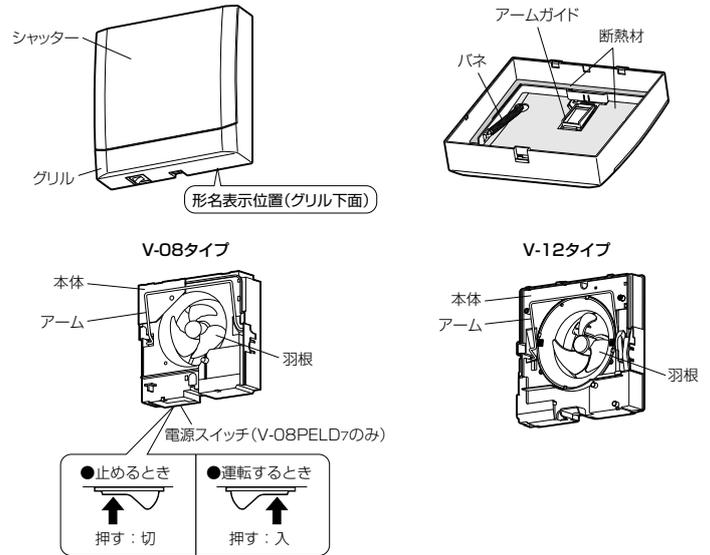
警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない爆発・引火の原因。	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。	●電源プラグの刃および羽の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 発煙・発火の原因。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。	●がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む 感電・けがの原因。	
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。		●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
ぬれ手禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。		
指示に従う	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。		

注意		誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する。また、据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。	●長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気が多い場所には据付けない。また、使用しない 感電・故障の原因。		
接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。		
指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 行う 落下によるけがの原因。		

2.ご使用にあたってのお願い

- 運転停止の際、下記環境下では結露水が滴下することがありますので、乾いた布でふき取ってください。
室外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度が15~25℃・室内湿度45%RH以上
- 運転停止の際、外風が強いときにはシャッターがばたつくことがあります。異常ではありません。
- シャッターを無理に押ししたり、引っ張らないでください。また、シャッターに物をかけたり、製品のまわりに物を置いたりしないでください。
(シャッター動作不良の原因になります)
- 運転中は吸込口(シャッターとグリルの間)に手を入れないでください。
- 周囲温度によりシャッター閉鎖音の大きさが変わることがありますが異常ではありません。
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

3.各部のなまえ



4.使用方法

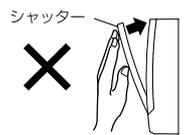
運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

24時間換気機能付タイプ

24時間換気用としてご使用するとき、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き電源スイッチは「入」でご使用ください。
●V-08PELD7は本体に電源スイッチがあります。

お願い

- 運転中にシャッターを無理に押さないでください。
- グリルの据付けや清掃は、必ず電源を切ってから行ってください。
(シャッター機構破損の原因になります)



5.お手入れ

グリル、シャッター、アーム、アームガイド、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生、シャッター開閉動作不良の原因になります。約2か月に1度を目安に清掃してください。

●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください）をお願いします。

警告

- お手入れの際は必ず電源を切る
感電・けが・シャッター機構破損の原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い

- 本体側面やシャッター裏面の断熱材をはがさないでください。
結露や外気侵入の原因。
- ドライヤーなどで強制乾燥をしないでください。
変形・変質の原因。
- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- アーム・アームガイドなどを無理に引っ張ったり分解しないでください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。
異常音発生の原因。

1. 清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはまず。

- 本体からグリルをはずす際、シャッター正面を支えながらはずしてください。
(落下によるけがの防止)

2. 清掃のしかた

1. グリルや羽根、本体は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

2. 本体のアームやグリルのアームガイドもぬるま湯（40℃以下）に浸した布をかたくしぼってふいてください。
汚れていると、シャッターがスムーズに動かないことがあります。

お願い

- シャッターとグリルを分解しないでください。
- パネをはずしたり、変形させないでください。
シャッター動作不良の原因。

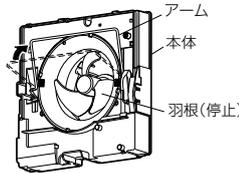
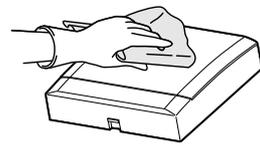
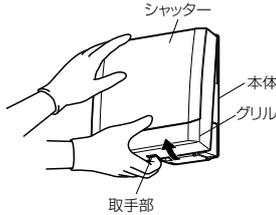
3. お手入れ後の清掃部品の据付け

据付けは取りはずしと逆の順序で行う。

- ① アームを右図のように押し上げる。
- ② グリルの方向を間違えないよう本体に据付ける。

お願い

- グリルの据付けは、必ず電源を切った状態で行ってください。
シャッター機構が破損するおそれがあります。



6.修理を依頼される前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
壁スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか 分電盤のブレーカーが切れていませんか 本体電源スイッチが「切」になっていませんか (V-08PELD7の場合)	差し込みます 「入」にします 「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか 羽根・アーム・アームガイドにほこり・異物が付着していませんか	据付け直します 清掃します
シャッターがばたつく 羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
シャッターが開かない、シャッターが閉じない	アーム・アームガイドにほこり・異物が付着していませんか グリルが確実に据付けられていますか	清掃します 据付け直します
焦げ臭いにおいがする	故障です 運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します

●モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7.アフターサービス

補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- 修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
●技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
●部品代…修理に使用した部品代金です。
●出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱パイプ用ファン
2. 形名 ○○-○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報(下記のとおり)をお取り扱いします。1.お買合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。2.上記利用目的のために、お買合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。②法令等の定める範囲に基づく場合。③個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 FAX (0573) 66-5659 (有料)

■ご相談対応

平日(土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
パソコン・スマートフォン **www.melco.jp**
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

S20A-KANKI-B

8.仕様

(電圧100V)

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PE7(-BE)	3.1	3.3	75	80	23.5	26.5	0.84
V-08PED7(-BE)	3.1	3.3	75	80	23.5	26.5	0.82
V-08PELD7	3.1	3.3	75	80	23.5	26.5	0.83
V-12PED7	4.8	5.3	140	155	31.5	34.5	1.2

※特性はJIS C 9603Iに基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間わたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件 JIS C 9921-2		電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	湿度	20℃	JIS C 9603Iから引用
湿度	65%	設置条件	標準設置	据付説明書による
設置条件	標準設置	負荷条件	定格負荷	「8.仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{注)}	換気時間 ^{注)}	
		浴室	2410時間/年	
		トイレ	2193時間/年	
		浴室	1671時間/年	

注) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を!



ご使用の際このようなことはありませんか。
●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
●こげ臭いにおいがする。
●本体据付部に腐食、破損などがある。



故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ	形名	お買上げ年月日	年 月 日
サービス依頼される時ご利用ください。	お買上げ店名(住所)(電話番号)	()	()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。(材質名は主材料にISO) (規定の略号を使用。)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号



三菱パイプ用ファン(電気式シャッター付)とヒピダ[®]

(居室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル色調	電源仕様	機能	24時間換気機能
V-08PE7	ホワイト	電源プラグ	-	-
V-08PE7-BE	ベージュ	電源プラグ	-	-
V-08PED7	ホワイト	速結端子	-	-
V-08PED7-BE	ベージュ	速結端子	-	-
V-08PELD7	ホワイト	速結端子	本体電源スイッチ付	●
V-12PED7	ホワイト	速結端子	-	-

据付説明書

販売店・工事店様用

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- 24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管または鋼板管のいずれかをご用意ください。

タイプ	適用パイプ	付属部品
V-08	・塩化ビニル管VP、VU(呼び径100mm) ・鋼板管(内径100mm)	木ネジ2本
V-12*	・塩化ビニル管VU(呼び径150mm) ・鋼板管(内径150mm)	木ネジ2本

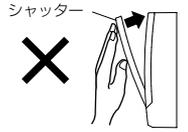
*V-12PED7は塩化ビニル管(厚肉管VP)には据付けできません。

1.安全のために必ず守ること

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」(裏面)をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2.据付前のお願い

- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。(故障の原因になります)
- 燃烧機器的排気口の近くには据付けないでください。(燃烧機器的から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付はしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 電源が入った状態でシャッターを無理に押ししたり、引っ張らないでください。(シャッター機構破損の原因になります)



3.各部のなまえと外形寸法図

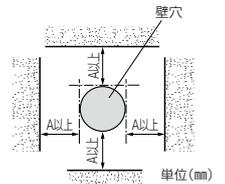
- 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください
- 外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

4.据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
 - 右図の壁穴位置をご確認ください。
 - 接続パイプは壁厚に応じて長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



…天井、壁、または障害物(コンセント、カーテンレールなど)

お願い

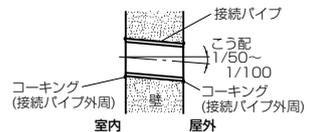
- 据付位置は右上図の位置になるようにしてください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備え付けている機種では電源スイッチが操作できなくなる場合があります。

タイプ	A
V-08	80
V-12	120

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



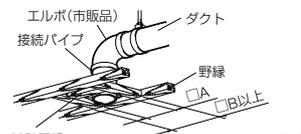
*接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

お願い

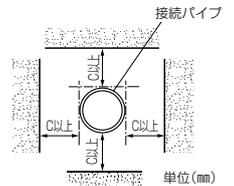
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合(野縁工事とダクト工事)

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をします。



タイプ	A	B	C
V-08	□120	□180	80
V-12	□180	□240	120



…天井、壁、または障害物(コンセント、カーテンレールなど)

お願い

- 接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備え付けている機種では電源スイッチが操作できなくなる場合があります。

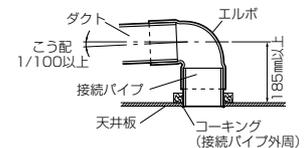
2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。

3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

4. 接続パイプと天井のすき間は、コーキング処理を施す。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



*接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご相談ください。

■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

注意

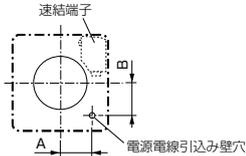
- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設ける。

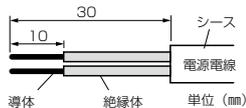
速結端子タイプの場合

1. 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
 - 電源電線はVVVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。

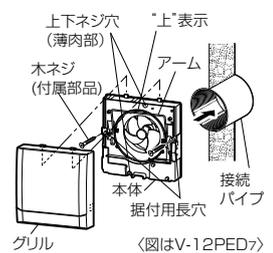


	単位 (mm)	
タイプ	A	B
V-08	65±5	30±5
V-12	85±5	45±5

2. 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。
 - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



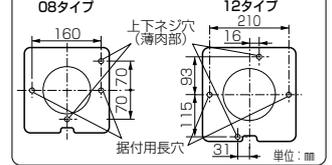
3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
 - 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
 - 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴（薄肉部）をご使用ください。
 - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。
- V-12PED7を床より2.8m以上の高い天井に据付ける場合は、付属の木ネジ2本で本体を固定後、市販の木ネジを使用して本体の上下部ネジ穴（薄肉部、上下2か所）を追加固定してください。

■本体ネジ穴位置

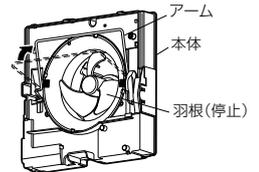


4. グリルを本体に据付ける。

- ①アームを右図のように押し上げる。
- ②グリルの方向を間違えないよう本体に据付ける。

お願い

- グリルの据付けは、必ず電源を切った状態で行ってください。シャッター機構が破損するおそれがあります。



5. 電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント（単相100V）に差し込む。
6. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

5. 試運転

据付けが終わりましたら下記の要領にて試運転を行い、正常に動作するか、異常な音・振動などがいないかを確認してください。

1. スイッチを「入」にするとシャッターが開き換気扇が運転（羽根が回転し排気）するかを確認する。
2. スイッチを「切」にするとシャッターが閉じ換気扇が停止するかを確認する。

3 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

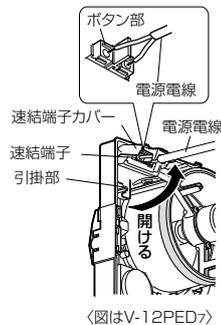
1. 本体からグリルをはずす。
2. 結線をする。
電気工事は電気工事士の方が実施してください。

速結端子タイプの場合

- ①速結端子カバーを右図のように開ける。
- ②電源電線を速結端子に差し込む。
- ③速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。



電源プラグタイプの場合

- 電源プラグを左右から出す場合
グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

お願い

- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。

